



# INNOSITE®



サイトック

## SITECH3D

3D 施工データ作成ソフト

サイトスコープ

## SITE-SCOPE®

点群処理ソフト

# 従来手法から180度転換した次世代の施工管理を実現！ 3D 施工データを活用した「普段使いのICT 施工へ」

3D 施工データを作成することにより「だれでも、いつでも、どこでも」リアルタイムに設計との比較、設計への誘導が可能になります。また、若年技術者でも計算ミスがなく、手戻りが少ない安心して任せられる現場が実現します。



SiTECH 3D で 3D 施工データを作成した全国のユーザー様の声です。

3D 施工データ作成！  
これがフロントローディング。

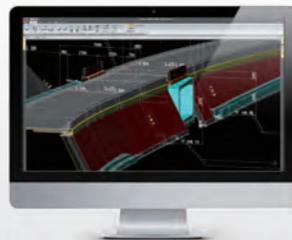
3D 施工データ作成は  
これから技術者の必須スキルだ。

構造物など100%の工事データ  
を作成するスゴイことが起きた。

3D 施工データ作成は  
究極の段取り八分だ。

3D 施工データ作成で  
丁張計算が不要になった。

断面変化点の作成で  
今までの日々の計算が  
全く要らなくなった。



3D 施工データ作成で  
現場の見える化と共有が  
簡単になる。

3D 施工データ作成で、現場は  
半分終わったようなもの。

サイテック  
**SITECH3D**

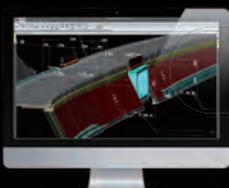
3D 施工データ作成で  
設計照査が確実にできる。

道路や河川の路線情報の入力と、断面変化点のデータをセットした 3 次元のスケルトンデータ（3D 施工データ）を作成することにより、現場施工における計算が一切不要となります。

また、砂防堰堤や造成工事、各種付帯構造物においても基線データと構造物の形状データをセットするだけで、同じく計算が一切不要となります。

## 3D 施工データを活用すると、もう2度と元には戻れません！

3D 施工データを100%活用するための最強コンビ



サイテック  
**SITECH3D**  
3D 施工データ作成ソフト

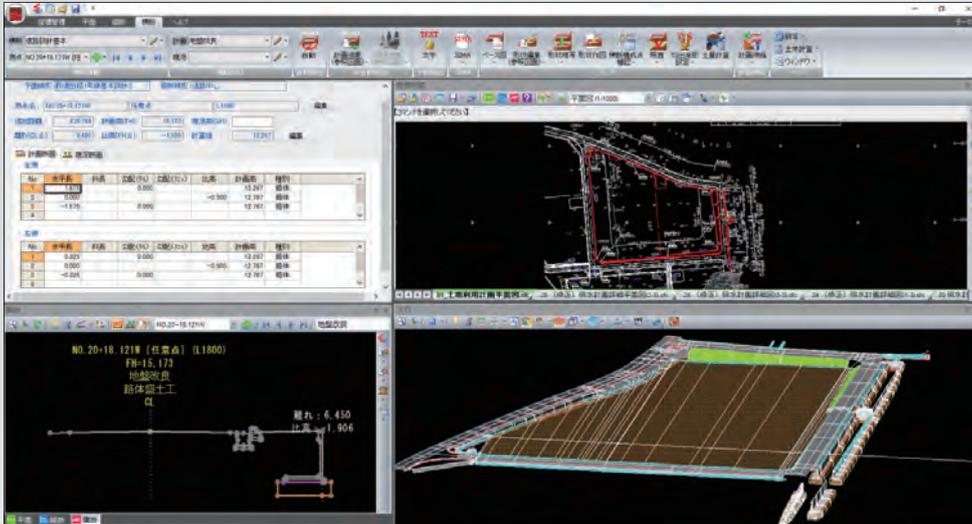
ICT 施工現場端末アプリ

**快測ナビ® Adv**



導入活用事例

3D施工データの作成に必要な機能を豊富に搭載した日本国内初の専門ソフト!  
圧倒的な速さで確実な3D施工データの作成が可能です。



- 3D施工データ作成
- 設計照査・確認
- データ連携
- 土量計算

### 3D施工データ要素解析・抽出機能

3D施工データの作成に必要な要素を自動・半自動で解析・抽出し、今までよりも圧倒的な速さで「使える3D施工データ」を作成できます。

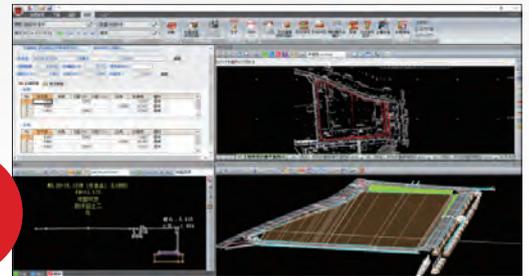
特許取得

特許第 5477874 号  
CADデータ変換システム及び、プログラムについての特許

平面図  
縦断面図  
横断面図



自動・半自動で解析



### ベース図配置機能

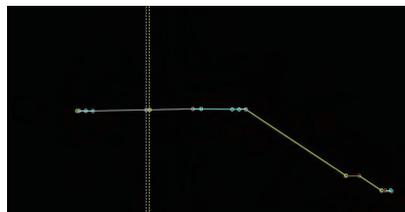
横断面を測点ごとの範囲で切り取り、測点と連動させる機能を搭載。連動させることで、3D施工データを効率よく作成できます。

横断プレビューの背景にベース図を配置

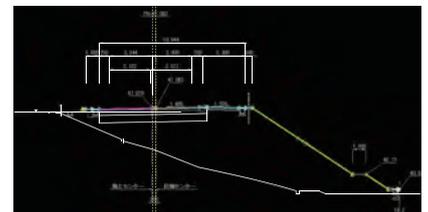
作成した横断形状とベース図が重なることにより、ミスのないデータを作成できます。

測点とベース図の連結

測点の選択時に、参照図面を割り当てた横断面図に自動で切り替えることで、ミスなくデータ入力を行えます。



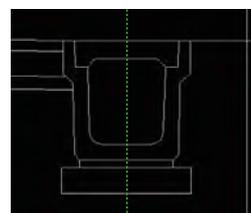
ベース図配置前



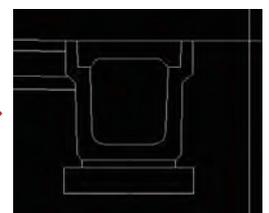
ベース図配置後

### ガイド機能

参照図面にガイド線、ガイド点を作図する機能を搭載。データ作成時に必要となる線や点を、CADソフトで作図する必要はありません。作図するガイド線、点は色指定も可能です。また作図時はガイド用のレイヤを自動作成するので、ガイドの表示非表示も容易に行えます。



ガイド表示

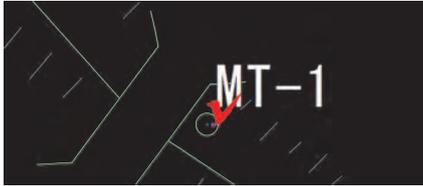


ガイド非表示

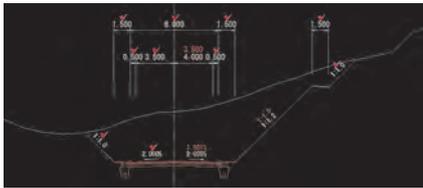
## 充実の設計照査・確認機能

平面・縦断・横断照査に加え、座標の精度確認や平面図と3Dデータを重ね合わせた確認機能を搭載し、さらに確実なデータ作成を支援します。

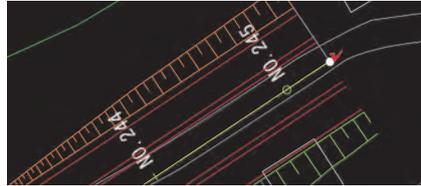
座標照査・確認



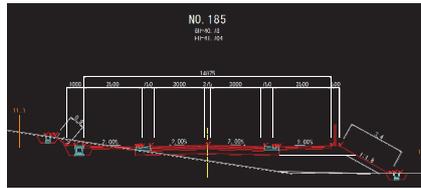
寸法照査



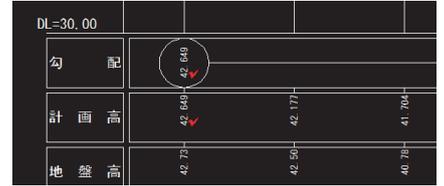
平面照査



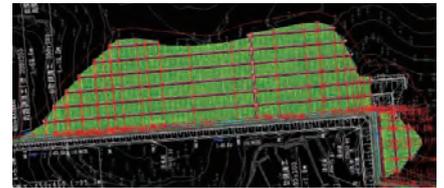
形状照査・確認



縦断照査



横断構成点確認

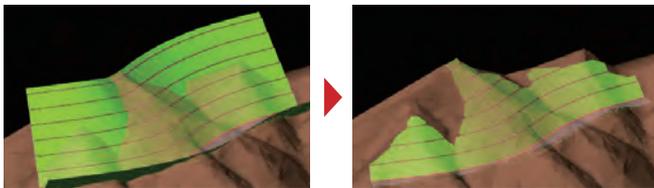


## i-Construction 対応機能

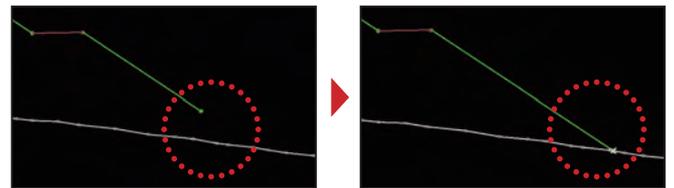


i-Constructionでは、起工測量で得られた現況地形（TIN）に合わせて3次元設計データを調整する必要があります。UAVやレーザースキャナーなどによる3次元測量によって得られた点群データから生成する、横断SIMAや現況地形（TIN）に合わせて、3次元設計データを伸縮調整することができます。

現況地形（TIN）に合わせて伸縮



横断線端部を伸縮



## データ連携機能

快測ナビ



ICT 施工現場端末アプリ「快測ナビ」で必要な3D施工データを、パッケージファイルとして出力します。出力したパッケージファイルを「快測ナビ」で取り込むことで、3D施工データを簡単にセットすることができます。

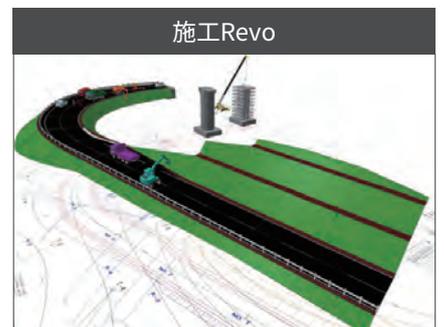
※3Dサーフェスデータは「快測ナビ Adv 版」のみ活用可能です。

SiTE-Scope



「SITECH 3D」で作成した3D施工データを「SiTE-Scope」で作成した点群上に配置することが可能です。「SiTE-Scope」と連携することで、施工における問題などを視覚的に把握したり、3Dの土量計算やi-Constructionの出来形などに利用できます。

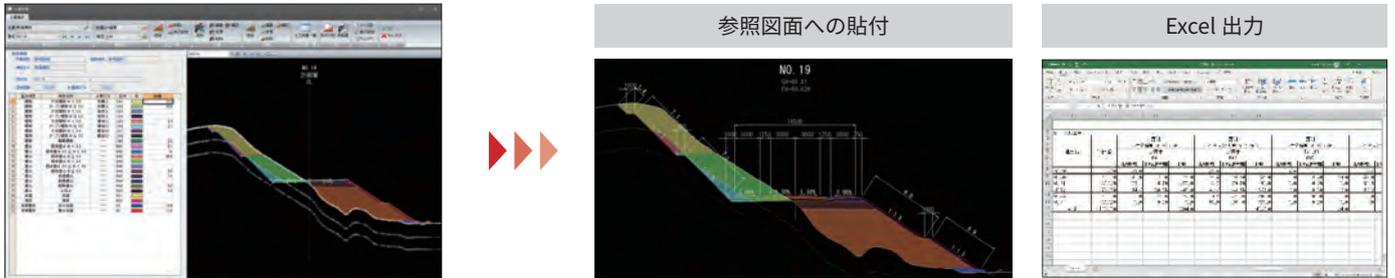
施工Revo



「SITECH 3D」で作成した3D施工データを「施工Revo」に配置することが可能です。「施工Revo」と連携することで、現場の4次元管理、施工シミュレーション、工事の進捗状況を視覚的に把握したり、3Dでのわかりやすい提案資料を作成できます。

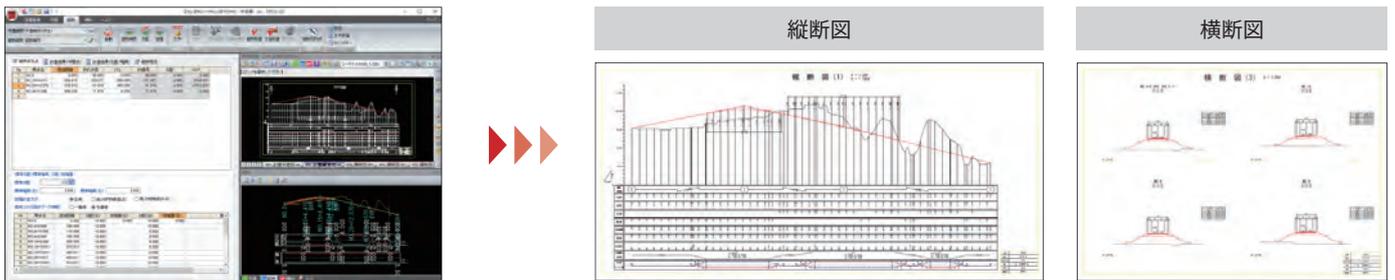
## 平均断面法・平均距離法による土量計算機能を搭載

計画・現況断面データから土工区分線、数量算出できる機能を搭載。  
算出した数量は、参照図面への表配置や土工数量一覧として Excel 出力できます。



## 縦断面図・横断面図作成機能を搭載

「SITECH 3D」で入力したデータから、簡単に縦断面図・横断面図を作成できます。  
表題欄取得機能、縦断面図の長尺設定、横断面図の土工区分線作図など、図面作成に必要な機能を豊富に搭載しています。



## SiTECH FileViewer

「SITECH 3D」で作成した 3D 施工データを、「SITECH 3D」がインストールされていない環境でも閲覧することができます。  
発注者や工事関係者とのやり取りなど、より多くの場面でご利用いただけます。



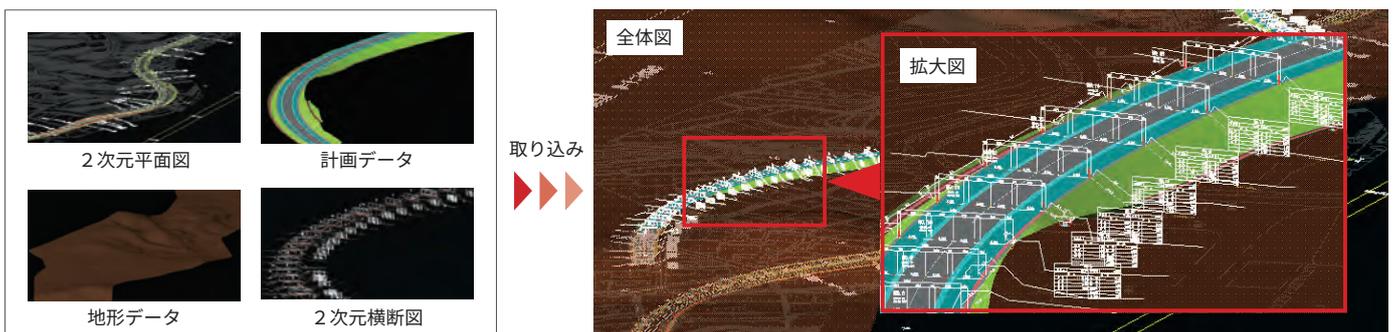
## SiTECH 3D Studio

無償オプション

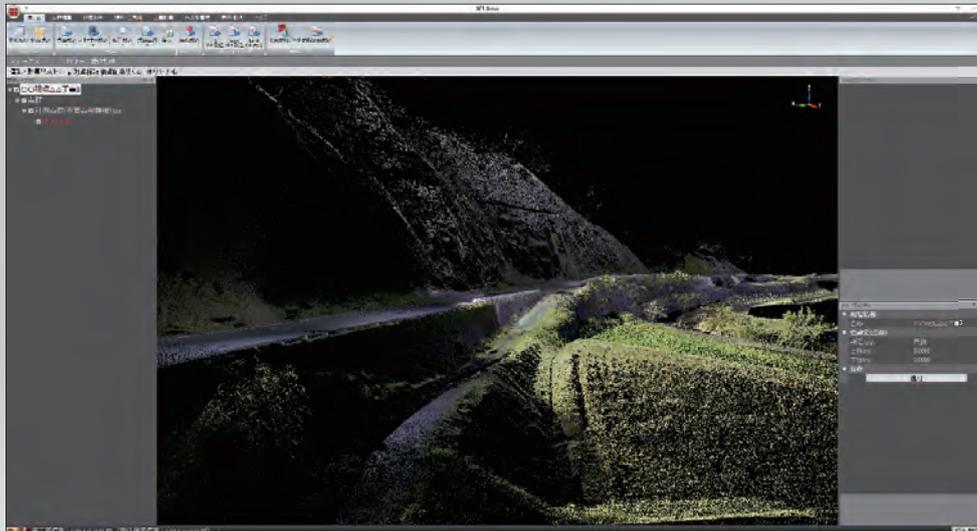
各種データ（2次元平面図・計画データ・地形データ・2次元横断面図）を取り込み、現場を見える化します。路線データに依存しない面作成で MC / MG データを作成するための簡易な点・面の作成機能や、面と面の交差部分を分割する機能を搭載しています。

※「SiTECH 3D Studio」は、「SiTECH 3D」をインストールすると同時にインストールされます。

各種データを取り込み、現場を見える化



i-Construction に対応。  
充実した編集機能で点群を高速処理します。



- 点群を高速処理
- 点群編集
- 3次元の土量集計
- 出来形集計

### 充実の点群編集機能

UAV やレーザースキャナーなどによる 3 次元測量によって得られた点群データから、樹木や重機などの不要な点を除去し、実際に利用できる 3 次元点群データを生成する機能です。



フィルタリング前

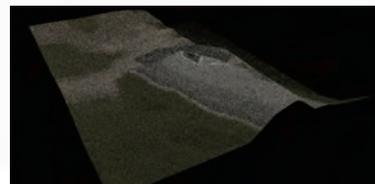


フィルタリング後

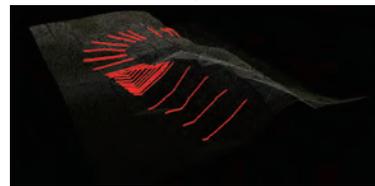
- 地表面** 地表面以外の不要な点を削除します。
- カラー** 指定した明るさや色の点を削除します。
- ノイズ** 点群データに写り込んだ不要な点群を削除します。
- 近傍点** 指定した距離内の点を削除します。
- 設計面** 表示中の設計面を元に点を削除します。
- 密度** 指定した密度サイズ内で抽出した点以外の点を削除します。

### データの間引き

点群データの密度を、起工測量や出来形計測、出来形評価用などの使用用途に応じた点群密度に変更します。



点群密度変更



### 範囲抽出で編集範囲のみ取り出しが可能

3次元で点群を編集する際に、全体範囲で編集をすると作業が非効率です。「範囲抽出」機能を使用することで、作業したい範囲だけを簡単に抜き出すことが可能です。



## 様々なファイルフォーマットに対応

CSV形式やTXT形式の点群ファイルはもちろん、LAS形式やCL3・CLR形式のスキャナーファイルの取り込みにも対応しています。

|             |  |
|-------------|--|
| 取り込み可能なファイル | 点群 <ul style="list-style-type: none"> <li>CSV</li> <li>LAS</li> <li>TXT</li> <li>CL3</li> <li>CLR</li> <li>PTS</li> </ul> 座標 <ul style="list-style-type: none"> <li>SIM</li> </ul> 設計 <ul style="list-style-type: none"> <li>Land XML</li> <li>TS XML</li> </ul> |
| 出力可能なファイル   | 点群 <ul style="list-style-type: none"> <li>CSV</li> <li>LAS</li> <li>TXT</li> </ul>   |

## 点群取り込み時に自動フィルタリング

点群データを取り込む時に、設定に応じて自動でフィルタリングする「編集取込」機能を搭載。フィルタリングする手間を削減します。



自動フィルタリング前

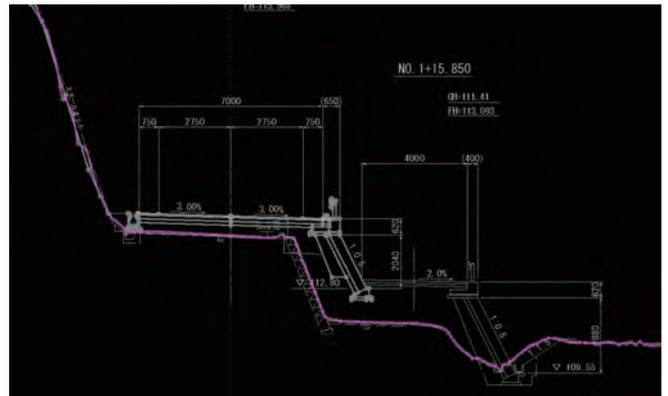
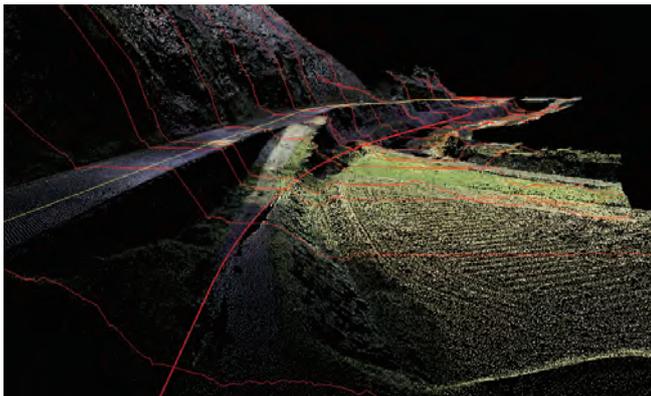
取り込み時に  
不要点を  
自動で削除



自動フィルタリング後

## 縦横断の点群抽出

点群データから縦横断の「点群抽出」機能を搭載。抽出した形状は縦断 SIMA や横断 SIMA に出力が可能です。点群から現況などの抽出を行い、横断 SIMA から「SITECH 3D」や「A 納図 [A-NOTE]」に取り込めば、簡単に現況図面の作成ができます。路線データに対して測点ごとの抽出はもちろんのこと、指定した任意方向の抽出も対応します。



## 3次元の土量集計

間引きした3次元点群データ(現況)や3次元設計データから、点高法・TIN法・プリズモイダル法により土量集計を行います。土量の差は、3Dヒートマップ表示でわかりやすく表現できます。

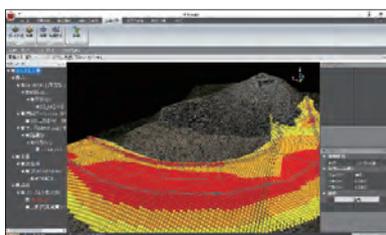
3次元点群データ(現況)



3次元設計データ



3Dヒートマップ表示

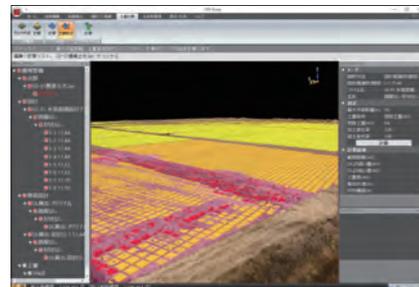


## 土量配分機能

農業土木(ほ場整備)対応

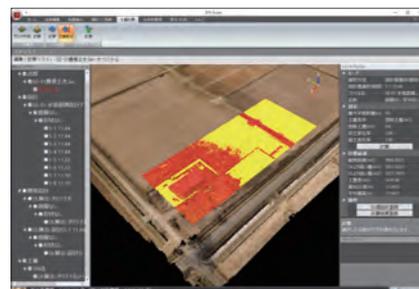
切り盛りトントン

選択した点群の均平計算を行います。範囲の選択は、任意の範囲を指定する方法と、図面を元に作成した設計面から指定する方法が選べます。また、均平区全体の算出はもちろん、均平区ごとに分割して算出することもできます。



控除土量に対応

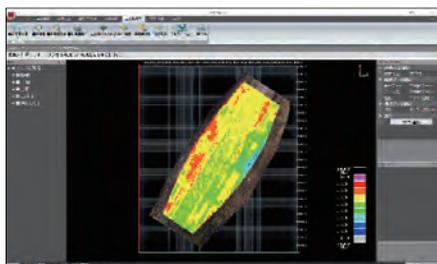
控除する土量を加味して平均標高を算出できます。その他、切土量・盛土量の指定、さらにDL値を指定して平均標高を算出することもできます。



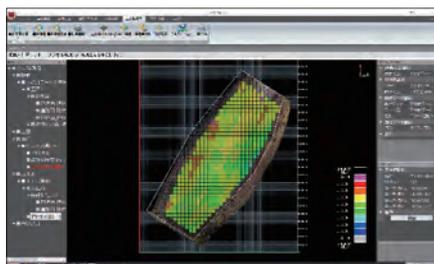
## i-Constructionの出来形集計に対応(土工・河川浚渫工)

3次元設計データと計測点群データを元に、i-Constructionに対応した出来形評価の集計とヒートマップ表示データを作成することができます。出来形評価は、実在点とグリッドデータ化の2種類の表現に対応。デキスパートの「出来形管理システム」に取り込めば、出来形帳票も自動作成できます。

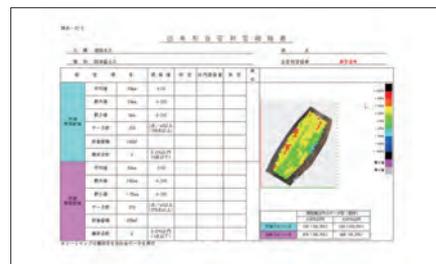
実在点による評価



グリッドデータ化による評価



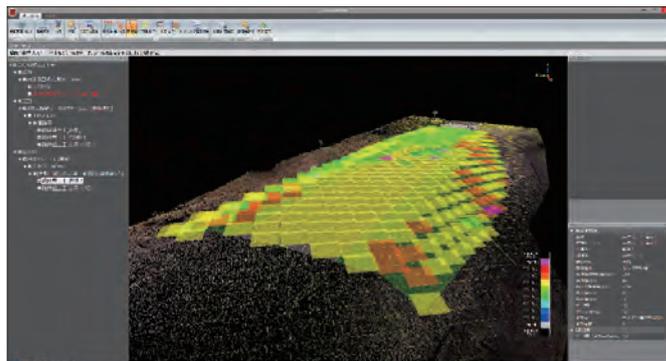
出来形合否判定総括表



## ビューア出力

i-Constructionにおける出来形管理資料としては、帳票またはビューアファイルでの納品が可能です。ビューア出力したものを納品することで、同ソフトウェアをお持ちでない発注者様などのPCで、出来形評価結果や点群データ、設計データを閲覧・確認することが可能です。

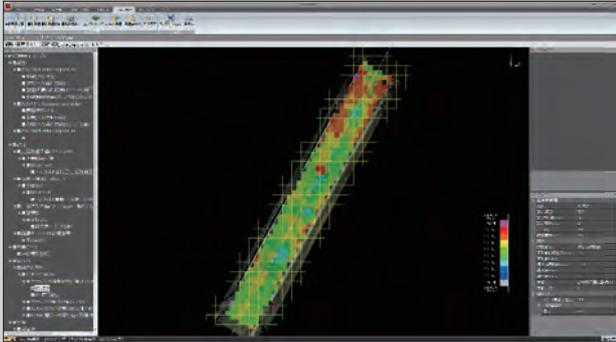
ビューアでは各データの閲覧はもちろんのこと、距離・座標・面積の計測なども可能です。設計データの照査や協議などにおいても活躍します。



## SiTE-Scope ICT オプション1 (舗装工)

有償オプション

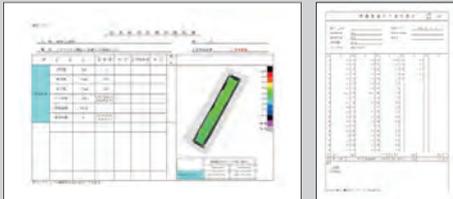
点群データと設計データを活用した各層ごとの厚さや標高較差による面管理に対応し、i-Constructionの「ICT 舗装工」における出来形管理（計算・比較）を実現します。また、点群からの平坦性の計算にも対応しています。



「ICT舗装工」に関する要領・基準に対応

各層ごとの厚さあるいは標高較差による面管理に対応

点群を高速処理



帳票イメージ

対応要領・基準 (i-Construction)

面管理

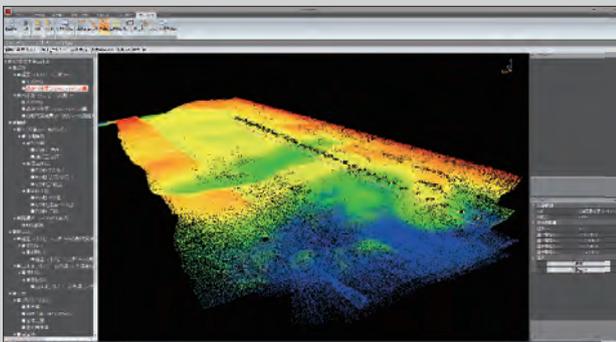
- 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）令和2年3月 / 平成31年4月 / 平成30年3月 / 平成29年3月
- 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）令和2年3月 / 平成31年4月 / 平成30年3月
- TS（ノブリスム方式）を用いた出来形管理要領（舗装工事編）（案）令和2年3月 / 平成30年3月

※「SiTE-Scope ICT オプション1（舗装工）」は、「SiTE-Scope」の有償オプションソフトです。使用には、「SiTE-Scope」が必要です。

## SiTE-Scope ICT オプション2 (港湾浚渫工)

有償オプション

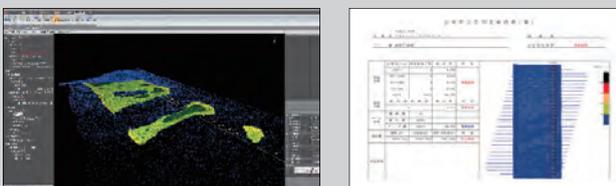
マルチビーム測量による点群データと設計データから、底面及び法面の水深差で出来形の良否判定が可能です。i-Constructionの「ICT 港湾浚渫工」における出来形管理（計算・比較）を実現します。



「ICT港湾浚渫工」に関する要領・基準に対応

TIN分割法及びプリズモイダル法による3次元数量算出に対応

底面及び法面の水深差による面管理に対応



帳票イメージ

対応要領・基準 (i-Construction)

面管理

- 3次元データを用いた出来形管理要領（浚渫工事編）令和2年3月（令和2年4月改定版） / 平成31年3月（平成31年4月改定版） / 平成30年3月（平成30年4月改定版）
- 3次元データを用いた出来形管理要領（浚渫工事編）（案）平成29年3月

※「SiTE-Scope ICT オプション2（港湾浚渫工）」は、「SiTE-Scope」の有償オプションソフトです。使用には、「SiTE-Scope」が必要です。

- LandXML1.2 に準じた 3次元設計データ交換標準 (案) Ver.1.3 平成 31年 3月

## 断面管理

- TS を用いた出来形管理要領 (土工編) 平成 29年 3月 / 平成 24年 3月
- TS 等光波方式を用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 平成 30年 3月
- [農林水産省] 情報化施工技術の活用ガイドライン (別紙-4 出来形管理用 TS 技術に用いる施工管理データの機器間データ交換の機能と要件) 令和 2年 4月 / 平成 31年 3月 / 平成 30年 7月
- [農林水産省] 情報化施工技術の活用ガイドライン (別紙-1 出来形管理用 TS 技術に用いる施工管理データの機器間データ交換の機能と要件) 平成 30年 3月 / 平成 29年 3月
- [農林水産省] 情報化施工技術の活用ガイドライン (別紙-2 基本設計データ作成ソフトウェアの機能と要件) 平成 30年 3月 / 平成 29年 3月
- [農林水産省] 情報化施工技術の活用ガイドライン (別紙-2 3次元設計データ作成ソフトウェアの機能と要件、別紙-5 基本設計データ作成ソフトウェアの機能と要件) 令和 2年 4月 / 平成 31年 3月 / 平成 30年 7月

## Ver.4.1

- TS による出来形管理に用いる施工管理データ交換標準 (案) Ver.4.1 平成 25年 1月
- TS による出来形管理に用いる施工管理データ作成・帳票作成ソフトウェアの機能要求仕様書 (土工編) (施工管理データ交換標準 Ver.4.1 対応) 平成 25年 3月
- TS による出来形管理に用いる施工管理データ作成・帳票作成ソフトウェアの機能要求仕様書 (舗装工事編) (施工管理データ交換標準 Ver.4.1 対応) 平成 25年 3月

## Ver.4.0

- TS による出来形管理に用いる施工管理データ交換標準 (案) Ver.4.0 平成 23年 9月 (平成 25年 1月 一部修正)
- TS による出来形管理に用いる施工管理データ作成・帳票作成ソフトウェアの機能要求仕様書 (土工編) (施工管理データ交換標準 Ver.4.0 対応) 平成 24年 3月 (平成 25年 1月 一部修正)
- TS による出来形管理に用いる施工管理データ作成・帳票作成ソフトウェアの機能要求仕様書 (舗装工事編) (施工管理データ交換標準 Ver.4.0 対応) 平成 24年 3月 (平成 25年 1月 一部修正)

## Ver.2.0

- TS による出来形管理に用いる施工管理データ交換標準 (案) Ver.2.0 平成 20年 3月
- TS による出来形管理に用いる施工管理データ作成・帳票作成ソフトウェアの機能要求仕様書 (案) (施工管理データ交換標準 Ver.2.0 対応) 平成 20年 3月 (平成 22年 12月改訂)

## 面管理

- 空中写真測量 (無人航空機) を用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 令和 2年 3月 / 平成 30年 3月 / 平成 29年 3月 / 平成 28年 3月
- レーザースキャナーを用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 平成 28年 3月
- 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 令和 2年 3月 / 平成 30年 3月 / 平成 29年 3月
- 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案) 令和 2年 3月 / 平成 31年 4月 / 平成 30年 3月 / 平成 29年 3月
- 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 令和 2年 3月 / 平成 30年 3月 / 平成 29年 3月
- TS を用いた出来形管理要領 (土工編) 平成 29年 3月
- TS 等光波方式を用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 平成 30年 3月
- TS (ノブリス方式) を用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 令和 2年 3月 / 平成 30年 3月 / 平成 29年 3月
- TS (ノブリス方式) を用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案) 令和 2年 3月 / 平成 30年 3月
- 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 令和 2年 3月 / 平成 31年 4月 / 平成 30年 3月
- 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領 (舗装工事編) (案) 令和 2年 3月 / 平成 31年 4月 / 平成 30年 3月
- RTK-GNSS を用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 平成 30年 3月 / 平成 29年 3月
- 3次元データを用いた出来形管理要領 (浚渫工編) 令和 2年 3月 (令和 2年 4月改定版) / 平成 31年 3月 (平成 31年 4月改定版) / 平成 30年 3月 (平成 30年 4月改定版)
- 3次元データを用いた出来形管理要領 (浚渫工編) (案) 平成 29年 3月
- 音響測深機器を用いた出来形管理要領 (河川浚渫工事編) (案) 平成 30年 3月
- 施工履歴データを用いた出来形管理要領 (河川浚渫工事編) (案) 平成 30年 3月
- [農林水産省] 情報化施工技術の活用ガイドライン (別紙-23 次元設計データ作成ソフトウェアの機能と要件、別紙-5 基本設計データ作成ソフトウェアの機能と要件) 令和 2年 4月 / 平成 31年 3月 / 平成 30年 7月

## 面管理

- 空中写真測量 (無人航空機) を用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 令和 2年 3月 / 平成 30年 3月 / 平成 29年 3月 / 平成 28年 3月
- レーザースキャナーを用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 平成 28年 3月
- 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 令和 2年 3月 / 平成 30年 3月 / 平成 29年 3月
- 無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 令和 2年 3月 / 平成 30年 3月 / 平成 29年 3月
- TS を用いた出来形管理要領 (土工編) 平成 29年 3月
- TS 等光波方式を用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 平成 30年 3月
- TS (ノブリス方式) を用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 令和 2年 3月 / 平成 30年 3月 / 平成 29年 3月
- 地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 令和 2年 3月 / 平成 31年 4月 / 平成 30年 3月
- RTK-GNSS を用いた出来形管理要領 (土工編) (案) 平成 30年 3月 / 平成 29年 3月
- 音響測深機器を用いた出来形管理要領 (河川浚渫工事編) (案) 平成 30年 3月
- 施工履歴データを用いた出来形管理要領 (河川浚渫工事編) (案) 平成 30年 3月
- [農林水産省] 情報化施工技術の活用ガイドライン (別紙-1 点群処理ソフトウェアの機能と要件、別紙-3 出来形帳票作成ソフトウェアの機能と要件) 令和 2年 4月 / 平成 31年 3月 / 平成 30年 7月

## INNOSITE® 保守会員サービス

### 保守会員サービスメニュー

|             | サービス内容   | 保守会員                      | 一般 |
|-------------|--|---------------------------|----|
| 最新プログラムのご提供 | 自動アップデートの利用  | ○                         | ×  |
|             | 最新プログラムダウンロードサービス  | ○                         | ×  |
|             | 最新インストールメディアのご提供   | 年1回無料                     | 有料 |
| 操作サポート      | 電話サポート [フリーダイヤル]<br>※必要に応じてリモートサポートもご利用いただけます。                     | ○                         | ×  |
| その他         | HDD 破損などによるネット認証の復旧【ライセンス強制解除】<br>(USB プロテクター認証の場合は、プロテクター装置の破損交換) | 1ライセンスあたり年1回無料<br>(年1回無料) | 有料 |
|             | 会員専用ページのご利用・メールマガジンなど各種情報のご提供                                      | ○                         | ×  |

### 保守会員価格 ※本カタログの記載価格は、すべて消費税率 10%の税込価格です。

| ソフト        | 年会費 (同一 ID のライセンス、1ライセンスあたり) |
|------------|------------------------------|
| SiTECH 3D  | 52,800 円 (税込)                |
| SiTE-Scope | 66,000 円 (税込)                |

※ INNOSITE シリーズ内で新製品がリリースした際は、価格帯が変わることがございます。  
※同一 ID のライセンスを複数お持ちの場合、保守にご加入いただく際は、同一 ID のすべてのライセンスで保守加入する必要があります。

**5年一括割引** 5年一括加入の際、1年分の年会費を割引いたします。

### 入会金・バージョンアップ料金

新規加入または再加入時に、保守会員年会費の他に登録事務手数料として入会金をお支払いいただきます。また、保守会員未加入期間が、3年以上5年未満の場合はソフト定価合計の 20%、5年以上の場合はソフト定価合計の 40%を、別途バージョンアップ料金として必要となります。

#### 保守会員入会金

33,000 円 (税込)

- ▶ 初回購入時で、翌月末日までに「保守会員サービス」に新規加入の場合は、入会金は無償です。
- ▶ 「保守会員サービス」退会後、翌月末日までに再加入いただいた場合は、入会金は無償です。

※保守会員入会金は、INNOSITE シリーズのソフトごとにお支払いいただきます。お持ちのライセンス数は関係ありません。

## ネット認証

INNOSITE シリーズのライセンス提供は、インターネット上で認証できる「ネット認証」が標準です。

- ・USB プロテクターによる「プロテクター認証」は、別途 USB プロテクターオプションが必要となります。
- ・複数ライセンスを所有またはご購入の場合、「ネット認証」と「プロテクター認証」の併用はできません。
- ・「プロテクター認証」から「ネット認証」への変更は、事務手数料がかかります。あらかじめご了承ください。



## 製品仕様

- ・PC 1 台につき、1ライセンスとなります。
- ・操作 (起動・出力含む) には、ネット認証、またはプロテクター認証されている必要があります。認証されていない場合は、起動・操作・出力など全ての作業を行うことはできません。

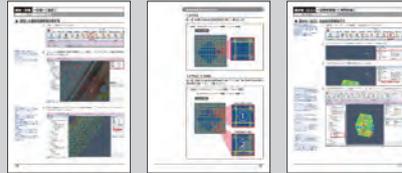


## KSサポート

KSサポートは、各種サポーツールを集約したWebのサービスです。

### PDFマニュアル

ソフトウェアの基本操作マニュアル（PDF）や、サンプルデータをダウンロードできます。



はじめて  
操作する方へ  
おすすめ

### 動画Q&A

平均解決率「66%」 ※ 2020年2月現在自社調べ

よくあるQ&Aを動画でご覧いただけます。スマートフォンで検索・閲覧しながら、パソコンを操作できます。

INNO SITE  
シリーズの  
Q&A 動画総数

200  
以上



### SiTECH 3D の Q&A：例

#### 導入編

- ・新規現場を作成し、発注図に取り込みたい
- ・座標データを取り込みたい など

#### 参照図面

- ・平面図を Google Earth に重ねたい など

#### 認証・その他

- ・プロテクター認証からネット認証へ切り替えたい など

スマートフォンでの  
閲覧はこちら



INNO SITEシリーズに  
ついてのQ&A



## 電話サポート

操作に関するお問い合わせは、フリーダイヤル回線をご利用いただけます。

**受付時間** 9:00～12:00 / 13:00～18:00（平日のみ）

操作に関するお問い合わせ時には、必要に応じてオペレーターと画面を共有する「リモートサポート」もご利用いただけます。



## i-Construction 特設サイト



### i-Construction をわかりやすく解説する「i-Construction 特設サイト」

国土交通省が導入を表明した i-Construction。ICT 技術を全面的に活用し、建設現場の生産性向上に向けて施工管理が大きく変わろうとしています。i-Construction 特設サイトでは、i-Construction の解説から、i-Construction 対象工事をバックアップする製品をご紹介します。



特設サイト

**くわしくはコチラ**

建設システム

検索

● Microsoft, Windows, DirectX, Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。● OpenGL は、Silicon Graphics, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。● Intel, Intel Core は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。● その他の社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。● 記載された仕様は予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。● 「i-Construction」は国土技術政策総合研究所の登録商標です。



違法コピー禁止  
このマークは違法コピー禁止マークです  
社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会

**ホームページ** [www.kentem.jp](http://www.kentem.jp)

動作環境に関しては、弊社ホームページの動作環境をご確認ください。

■ 問い合わせ先

■ 開発元



建設システム [www.kentem.jp](http://www.kentem.jp)

**本社** 〒417-0862 静岡県富士市石坂 312-1

**東京オフィス** 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-3-9 PMO 神田万世橋 8F

**静岡オフィス** 〒420-0031 静岡県静岡市葵区呉服町 1-30 札の辻

**営業所**

詳細は、弊社ホームページをご確認ください。

札幌・帯広・盛岡・仙台・新潟・関東・首都圏・北陸・本社・名古屋・関西・兵庫・四国・広島・九州  
南九州・沖縄